

実務経験のある教員による授業科目一覧

教育学部					担当教員	実務経験のある教員による授業科目 ＜授業概要＞
授業科目の名称	単位	科目区分	開講期	開講年次		
教育時事問題	2	専門科目	前期	3	土井 雅弘	教育に関する諸課題は多様化・複雑化しており、国や地方自治体による教育改革は絶えず進行中である。本講義では、中央教育審議会の答申や新聞報道、各種統計資料等を用いつつ、教育に関する時事問題や教育改革の動向、進捗状況に関する理解を深めつつ、今日の教育を巡って指摘されている問題や課題、その対応策等について考察することをねらいとするものである。なお、小・中学校長、教育行政等の実務経験を活かして学校現場のエピソード等を交えながら授業を進めていく。
学校心理学	2	専門科目	前期	2	佐久間 祐子	学校心理学は、「学校教育において一人ひとりの子どもが学習面、心理・社会面、進路面、健康面における課題への取り組みの過程で出会う問題状況の解決を援助し、子どもが成長することを促進する『心理教育的援助サービス』の理論と実践を支える学問体系」と定義される。本講義では、学校心理学とそれを支える心理学的基盤、心理教育的援助サービスの方法、学校心理学的援助の実践という3つの柱を、事例や演習を交えながら紹介し、体験的に学ぶことで上記到達目標を達成する。なお、心の援助資格(臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士)を有し心理臨床実務に携わってきた経験を生かした講義・演習を行う。
臨床心理学	2	専門科目	前期	2	佐久間 祐子	臨床心理学は、個人、集団、地域(学校・企業をなどコミュニティ)に対する心理的援助の実践に基づいた応用心理学である。本講義では、臨床心理学の理論的背景、及び、心理臨床の実践における臨床心理面接、臨床心理査定、臨床心理的地域援助、臨床心理的研究調査という4つの柱の理論と実践を紹介する。講義に際し、テキスト及び配付資料等により各事項の予習を行い、グループワーク、グループディスカッション、演習を交えながらこれらを体験的に身につけ、臨床心理学の各種基礎事項を説明することを目的とする。なお、心の援助資格(臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士)を有し心理臨床実務に携わってきた経験を生かした講義・演習を行う。
健康心理学	2	専門科目	後期	2	佐久間 祐子	健康心理学は、人間の精神と身体の結びつきを重視した健康に関する多面的で複合的な学問であり、その範囲は狭義の心理学にとどまらず、医学、保健学など、他の健康領域の学問にも関連する。この講義を通して、健康問題へのアプローチの方法を、心理的手法を中心に他の健康関連領域を含めて広く学ぶ。特に、ストレスとストレス対処や健康に関連する各種要因など、現代社会に生きる人々の心身の健康の維持・向上に重要となる知識・対処法を演習を交えて体験的に学び、健康問題をミクロからマクロまで広い視点で理解できることを目指す。なお、心の援助資格(臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士)を有し心理臨床実務に携わってきた経験を生かした講義・演習を行う。
道徳教育の理論と方法[小]	2	専門科目	前期	2	土井 雅弘	本講義は、小学校学習指導要領等を中心に、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する道徳教育(学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の授業)について、その理論と指導法を学ぶものである。小学校教員として実際に道徳の授業を行い、また、小学校長、市・県の道徳担当指導主事として小学校の道徳の授業の指導に当たってきた経験を活かして小学校の具体的な実践例や教材等を用いて、講義・演習等を行う。
道徳教育の理論と方法[中]	2	専門科目	前期	2	土井 雅弘	本講義は、中学校学習指導要領等を中心に、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する道徳教育(学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の授業)について、その理論と指導法を学ぶものである。小学校教員、中学校長として実際に道徳の授業を行い、また、中学校長、市・県の道徳担当指導主事として中学校の道徳の授業の指導に当たってきた経験を活かして中学校の具体的な実践例や教材等を用いて、講義・演習等を行う。
学級経営論[中・高]	1	専門科目	後期	2	土井 雅弘	中学校・高等学校の学級担任として必要な学級経営に関する能力を身に付けるため、学級経営の内容・方法について学ぶことをねらいとする授業科目である。生徒の発達段階を考慮しつつ、中学校・高等学校における学級経営の実践例を取り上げながら、学級経営の基本的事項と留意点、学級集団と学級経営、保護者・地域との連携等について理解を深める。また、学級経営案の作成等を通じて、学級経営に関する実践力の獲得を目指すものである。なお、中学校長、教育行政等の実務経験を生かし、具体的なエピソード等を交えながら授業を進めていく。
教育相談[小]	2	専門科目	前期	3	佐久間 祐子	この授業では、特に小学校における教育相談に関する基本的事項及び最新のテーマを紹介し、演習を交えながら体験的に学ぶ。まず現在の小学校における教育相談の状況及び基本事項を講義する。あわせて、児童期の教育相談に関連する事例を紹介し問題と対応を議論する。さらに、教育相談の技術として必要となる理論と実際について、各種アセスメントや小学校年齢特有の非言語的メッセージとその理解などの演習を交え、小学校における教育相談を体験的に理解し、実践に対応できることを目指す。なお、心の援助資格(臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士)を有し心理臨床実務に携わってきた経験を生かした講義・演習を行う。
教育相談[中・高]	2	専門科目	後期	3	佐久間 祐子	現在の中・高における教育相談の状況及び基本事項を講義する。あわせて、思春期・青年期の教育相談に関連する事例を紹介し問題と対応を議論する。さらに、教育相談の技術として必要となる理論と実際について、各種アセスメント、思春期・青年期特有の言語的・非言語的メッセージとその理解などの演習を交え、中・高における教育相談を体験的に理解し、実践に対応できることを目指す。なお、心の援助資格(臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士)を有し心理臨床実務に携わってきた経験を生かした講義・演習を行う。

実務経験のある教員による授業科目一覧

教育学部					担当教員	実務経験のある教員による授業科目 ＜授業概要＞
授業科目の名称	単位	科目区分	開講期	開講年次		
国語科教育研究(書写を含む)	2	専門科目	前期	1	遠藤 真司	小学校国語科の目的や学習指導要領の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と言語事項の各内容についての基礎を学ぶ。児童の言語能力養成について本質的な問題を考え、国語科の授業はなぜ必要なのかということを含めず考える。学習すべき内容は何か、それをどのような教材を用いて、どのような学習活動をしていくのか、そしてそれをどのように評価するのかなどの考えを確かに持てるようにする。小学校の書写指導に関する基本的な知識、内容なども学び、国語科教育の体系的な研究を行う。公立小学校教諭として19年間、児童に国語の授業を行っていた経験を生かして、実際の学校現場での教師の国語教育に対する見方、考え方などを学べるようにする。
社会科教育研究	2	専門科目	前期	1	坂井 俊樹	小学校社会科の学習内容を教科書や学習指導要領を踏まえて考え、授業構想に必要な教師として持つべき知識や教養、科学的探究のためのスキルを講義し、人文社会諸科学との関係も理解する。その上で、グループによって自らテーマについて調べ、発表し合い、討論し、内容理解を深めていく。また大学周辺の教材研究をグループで進める。これらは小学校長および中学校教諭としての実務の経験を生かし、地域巡検の引率などを通じて授業に役立つ教材化の指導を行う。
理科教育研究 I (理科教育研究)	2	専門科目	前期	2	千葉 秀一	長年にわたり公立学校に勤務し教鞭をとる傍ら、理科教育研究会に所属して専門性を深め、数多くの研究発表や教科書作成にも関わってきた。その経験を活かし、大学教育の専門性ととも、将来教育に携わる人材育成のための実践的な教育を心がける。小学校理科の目標や内容、使用する教材、学習の展開の要点について講義する。教科書に掲載されている観察・実験の実習をグループワークで行い、主体的、対話的で深い学びにするための手立てや改善案等についてグループディスカッションで考察する。その日に実習した中から1単元を選び、教材研究レポートにまとめる。
理科教育研究 II	2	専門科目	後期	2	千葉 秀一	長年にわたり公立学校に勤務し教鞭をとる傍ら、理科教育研究会に所属して専門性を深め、数多くの研究発表や教科書作成にも関わってきた。その経験を活かし、大学教育の専門性ととも、将来教育に携わる人材育成のための実践的な教育を心がける。小学校理科の各区分・領域における探究的な学習、問題解決型の学習についての講義を聞き、「観察・実験スキルアップ講座」で、観察・実験のグループワークを行い、技能を習得するとともに、それらの基礎的な知識、技能を基にして、より探究的な学習にするための授業改善についてグループディスカッションを行う。毎回、スキルアップ講座で行った観察・実験レポートを作成する。
生活科教育研究	2	専門科目	前期	1	小野澤 美明子	小学校教員の実務経験を活かし、子どもと教師双方が主体的、協働的に参加できる授業が創れるように、体験学習やフィールドワークを通して、実践的指導力を培う。子どもたちが、自分と身近な人々、社会及び自然と関わることは、子どもたちの生活そのものであり、まさにそれが学習であることを認識する。まず、今の子どもが何に興味を持ち、どんな生活をしているか、子ども自身を知ることから始める。次に、身近な自然や物を利用して遊びを開発したり、地域探検をして地域素材を収集する。子どもたちの身の周りに存在する物や事象は全て学習資源になり得ることを、自らが体験する活動を通して、指導する手がかりを得るようにする。最後に、個々の課題研究として継続観察してきた動植物に関する教材研究の経過を発表する。生活科の活動は、教師と子どもが社会的世界と関わり合いながら、協働で参加する文脈において、常に再構成され更新していくことを学ぶ。
音楽科教育研究 I (音楽科教育研究)	2	専門科目	前期	1	石田 修一	小学校教育における音楽教育の問題の把握及び課題の解決にむけて、指導と評価の方法について具体的な指導事例や教材を基に研究する。教材研究方法及び音楽理論と歌唱の基礎を学び、音楽科教育の在り方について研究を深める。公益財団法人日本音楽教育文化振興会理事として全国各地の幼小中高等学校の音楽教育の現場において指導助言を行っている経験を活かして、社会において必要とされる音楽教育とはどのようなものかを学び、その教育方法を学ぶ授業を行う。
国文学史A	2	専門科目	前期	1	服部 一枝	各時代の主な作品を取り上げ、それらの文学作品が長い年月、多くの人々に語りつがれ読みつがれてきた理由を、作者の生きざまを検討しながら考察する。個々の作品の読解・鑑賞を通して、作者の生き方を時代や文化との関係について理解できるように進めていく。原典を影印本で読めるように、「百人一首」を使って、変体仮名を学んでいく。従って、下記の授業内容と並行して百人一首を鑑賞することにもなる。中学・高等学校において国語科の教員に就任していた経験を活かして、国語科の目標である言語能力を養いながら、具体的な作品・教材研究への視点など専門性を養い、授業のための実践力が身につくよう講義する。
日本の古典文学A	2	専門科目	前期	2	服部 一枝	古典文学における韻文の歴史の変遷を視野に入れ、代表的な和歌集、俳諧集、歌人、俳人を取り上げて具体的にその作品を読んでいく。さらに後世の文学や芸能に及ぼした影響にも触れることにし、意見交換を通して、古典文学における韻文が日本文学に果たした重要性に対する認識を高める。現代を生きる上で、古典作品を読むことに大きな意味があることに思いが及ぶようでありたい。中学・高等学校において国語科の教員に就任していた経験を活かして、和歌・俳諧の言語の特質に応じた教材研究や表現などについて専門的な力が身につくよう講義する。
日本の古典文学B	2	専門科目	後期	2	服部 一枝	中古文学、中世文学から物語・日記文学の代表作を中心に取り上げて読む。人間や社会に向けた眼差しの普遍性に対する認識を高め、時代を超えて読み継がれてきた古典を読むことの現代的意義についての意識を確かなものとする。意見交換を通して、古典文学における物語・日記文学が日本文化に果たした重要性に対する認識を高める。現代を生きる上で、古典作品を読むことに大きな意味があることに思いが及ぶようでありたい。中学・高等学校において国語科の教員に就任していた経験を活かして、物語・日記文学の言語の特質に応じた教材研究や表現などについて専門的な力が身につくよう講義する。

実務経験のある教員による授業科目一覧

教育学部					担当教員	実務経験のある教員による授業科目 ＜授業概要＞
授業科目の名称	単位	科目区分	開講期	開講年次		
書道	2	専門科目	後期	1	服部 一枝	書は文字を素材としている。素材である文字の発生、発展、歴史をたどりながら、楷書・行書・草書・かなの書写力を毛筆を通して高めていく。基礎から創作までを短期間で修得し、書道に興味、関心を持つことにより、書写書道教育の重要性を短くしていく。また、書くことと同じように本物をみて鑑賞眼を養うことも大切である。折に触れて博物館、美術館情報を知らせ、書の鑑賞方法を学ぶ。毎時間必ず添削を受け、清書作品を提出する。 中学・高等学校において国語科の教員に従事していた経験を活かして、学習指導要領にある書写の学習指導の配慮事項(「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること」)を踏まえた力が身につくよう講義する。
初等教科教育法(国語)	2	専門科目	前期	2・3	遠藤 真司	国語科の授業を実践するに際しての教材研究の観点と手法、授業構想の立て方を体得する。同時に国語科教育の今日的課題を意識した指導者としての資質と能力を養成する。小学校国語科の本質・目的、教育課程と教科の構造・方法について解説するとともに、国語科を学ぶ児童の特質を理解するよう指導する。低学年、中学年、高学年それぞれの代表的な教材を使用して、教材研究の仕方、学習指導の要点などを学ぶことができるようにし、それをもとに他教材について指導技術が生かされるようにする。公立小学校教諭として19年間、児童に国語の授業を行っていた経験を生かして、数多い児童の反応を示しながら、学校現場における実践的な指導力を養う。
初等教科教育法(社会)	2	専門科目	後期	2・3	坂井 俊樹	社会科の変遷や目標、授業や評価の基本、現代の子どもたちの姿などについて講義する。その上で、社会科の地域素材や具体的事例からこれらは中学校教諭としての実務の経験を生かして生かして、授業に役立つ指導を行う。実践的教材研究、学習指導案の作成、模擬授業、新聞づくりなどの子どもの側に立った作品作りなどを行っていく。これらは小学校校長および中学校教諭としての実務の経験を生かし、子どもたちの多様な視点を考慮した授業設計の具体的な指導を行う。
初等教科教育法(理科)	2	専門科目	後期	2・3	千葉 秀一	長年にわたり公立学校に勤務し教鞭をとる傍ら、理科教育研究会に所属して専門性を深め、数多くの研究発表や教科書作成にも関わってきた。その経験を活かし、大学教育の専門性とともに、将来教育に携わる人材育成と理科授業充実のための実践的な教育を心がける。 小学校理科で取り扱われる理科の内容に関しての基礎的な理論についての講義、演習実験、映像資料等の提示による学修。指導案作成にむけて、内容の理解、教材の選定、学習の流れなどに関するグループワークやグループディスカッションを行い、自己の考えを積極的に表現する姿勢を養うとともに、各自で単元を選び、学習指導案を立て、模擬授業を実施することを課題とする。
初等教科教育法(生活)	2	専門科目	前期	2・3	小野澤 美明子	小学校教員の経験を活かし、子どもと教師双方が主体的、協働的に参加できる授業が創れるように、模擬授業を通して実践的指導力を培う。 生活科の特質を確認した上で、身の周りの事象の不思議さや面白さを実感できるような単元開発を試みる。模擬授業では、教師役と子ども役になりきり演じることで、相互の関係性を深め、協働参加による授業作りを目指す。生活科の活動は、3年生からの「総合的な学習の時間」に引き継がれる特性を含むことにも留意したい。活動内容の総合性及び柔軟性が高く、子どもも教師も楽しめる教科であるが、その一方で、教師の創造性や実践的指導力に大きく左右されることを、模擬授業を通して学んでいく。
教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]	2	専門科目	前期	2	千葉 秀一	長年にわたり公立学校に勤務し教鞭をとり、管理職として複数校の学校運営に携わった。その経験を活かし、大学教育の学問としての教育原理とともに、教育に携わる人材育成のための実践的な教育を心がける。 将来、小学校教員に従事する上で知っておいた方がよい実務内容や法的事項、教育活動の内容、教員として児童に関わることの意義や役割についての入門講座である。初等教育の現場や教員の仕事に対する理解を深めるため、毎回テーマを決め、その内容を理解、考察するとともに、事例研究などのグループディスカッションを行うとともに、その内容を発表したり、聞いたりする。また、実習、演習として実践的な活動を行う。
教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ)[小]	2	専門科目	後期	2	千葉 秀一	長年にわたり公立学校に勤務し教鞭をとり、管理職として複数校の学校運営に携わった。その経験を活かし、大学教育の学問としての教育原理とともに、教育に携わる人材育成のための実践的な教育を心がける。 初等(小学校)教育の現場や教員の仕事に関する具体的な事例や、法的な根拠、仕事の意義について紹介・解説したり、資料をもとに理解し考察したりする。また、設定したテーマについて、講義内容で得た知識・情報、配布された参考資料や自ら収集した資料をもとに、グループワーク・ディスカッション形式で事例研究や演習を行い、グループごとに発表したり聞き合ったりする。理解・考察したこと、グループの発表について各自ワークシートやレポートにまとめて提出する。
教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]	2	専門科目	前期	2	土井 雅弘	2年生を対象とした必修の授業科目である。教職実務の経験を積むための入門講座として、グループディスカッション等を通じて、中等教育の現場や教員の仕事に対する理解を深めることを目的としている。また、早い段階から教職を志す者としての姿勢や態度を涵養するため、中学校長であった実務経験を生かし中等教育の具体的な現場や教員の仕事に対する理解を深め、教職への意欲を高めると共に、教員として生徒に関わることの意義や役割、学校現場で行われている教育活動について考える内容である。
教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ)[中・高]	2	専門科目	後期	2	土井 雅弘	教職研究Ⅰにおける学びを素地として、担当教員の講義、学生による発表等のほかに、授業見学等を通して生徒と関わりをもつなど、教員の仕事や教育現場を観察する体験を取り入れた授業科目である。中学校長であった実務経験を生かし様々なエピソード等を交えながら、また多様な学習方法を通じた総合的な学びの場とし、演習を通じて教員志望の意識を高める内容である。
合計	53					